



# 赤磐

令和3年9月議会 第67号

# 市議会だより



スマートフォンでも  
議会中継が見えます

右のQRコードをスマートフォン  
等で読み取るとページにアクセスで  
きます。



(議会中継)



(会議録)

9月定例会のあらまし .....	2P
委員会のうごき .....	7P
11人の議員が一般質問 .....	11P
視察報告 .....	17P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/akaiwa/pg/index.html>

赤磐市議会

検索

## 赤磐市過疎地域持続的発展計画について可決

**問** 森林整備の基本方針に松くい虫防除の徹底と適正な管理に努めるとあり、空中散布で防除をしているが、中止を求め声がある。市はどのように考えているのか。

**答** 松くい虫の対応は空中散布だけではなく燻蒸の処理、樹種の転換、危険木の伐採等を組み合わせて実施している。松の保全を目的とする各種の対応策の中でコスト、効率面で空中散布の効果は大きなものがあり、空中散布をどうするかは、地域や関係者の方々と十分に協議を進めていくものと思っている。

### 本会議での 主な質疑

# 9月定例会の あらまし

## 議案審議

9月定例会のあらまし

委員会の概要

いっぽん質問

その他協議会等

## 令和3年度補正予算（一般会計・特別会計）の増額補正を可決

### 主な内容（歳出）

#### 一般会計（2億7034万円増額）（第5号）

- ・公有財産管理事業（1638万円）
- ・庁舎等整備事業（1億1200万円）
- ・保育園コロナ対策事業（1270万円）
- ・FM管理事業（150万円）等

#### 一般会計（5475万円増額）（第6号）

- ・新型コロナウイルス感染症対策の支援金、奨励金、補助金（4560万円）
- ・家庭学習のための通信機器に係る経費等（415万円）等

#### 国民健康保険特別会計（2億6426万円増額）（第2号）

9月定例会を8月26日から9月28日まで34日間の会期で開催した。人事案件1件を適任、決算10件を認定、議案13件を可決、修正案1件を否決、請願1件を不採択とした。また、委員会発議の意見書1件を可決とした。

### 本会議での主な質疑

#### 一般会計（第5号）

**問** 庁舎等整備事業について説明を。赤坂・熊山支所の修繕的改修と旧消防本部庁舎の改修に係る経費。

**答** 赤坂・熊山支所を本庁舎の改修工事期間中の仮執務室として使用する計画で、使用するには一部修繕を行う必要がある。先行して改修工事に取り掛かる予定。まずは雨漏りの修繕、空調設備の改修等をしていく。旧消防本部庁舎は、今後も執務室として利用する計画で、そのための改修工事を進めるものである。

**問** 公有財産管理事業の山陽産業会館の改修はどの程度の改修を考えているのか。

**答** イベントホールを執務室として利用するための改修を行うもので、主な改修は、空調設備と天井の改

修、照明のLED化などを計画している。現在のホールから会議室的な部屋へと改修し、コロナ禍の今、適時職員の分散勤務に対応できるように考えている。また、一時的に本庁舎改修時の仮執務室として利用する計画である。

**問** 執務を行う場所が4箇所に分断されることで市民にとってどれだけの影響がでるか議論はしたのか。また、どのような配置を計画しているのか。

**答** 市民には、できるだけ不便、負担が生じないよう十分に考慮しながら計画を立てているが、今後さらに詳細な検討を進め最善の形を考えていく。

案としては市民部局、福祉部局、税務課、会計課など来庁者が多く配慮が必要な部署は本庁舎、旧消防本部庁舎、山陽産業会館で業務を行う必要があると考えている。

赤坂・熊山支所については内部的

な事務を行う部署などを考えている。

**問** FM管理事業の株式会社岡山シティエフエムの株を取得することだが、なぜ今回株を取得するのか。また、事業をどう推進していくのか。

**答** 赤磐市のコミュニティFMとして位置づけ、育成し、活用することを目的として同社に出資することは必須であると考えている。

防災情報、地域の話題や行政、観光、交通など地域に密着した情報発信の重要なツールとして活用したいと考えている。

**問** 保健衛生費の会計年度任用職員報酬と、新型コロナウイルスワクチン接種委託料について説明を。

**答** 新型コロナウイルスワクチン集団接種の運営を熊山診療所の職員が中心となっており、そのため熊山診療所を休診していたが通常の診療体制に戻すため、集団接種に必要な人員の別途確保が必要となった。

予診チェック、接種、接種済証の発行などを担当する会計年度任用職員16人分の報酬398万円、誘導、消毒、会場準備、片付けなどを担当する人材派遣8人分の委託料375万円である。

## 一般会計(第6号)

**問** 教育費の家庭学習のための通信機器整備に係る経費について具体的に説明を。

**答** 新型コロナウイルス関連の公立学校情報機器通信整備事業で、新型コロナウイルスの影響により学級閉鎖や学年閉

鎖、また、感染や濃厚接触により学校に登校できない児童・生徒に対して学習機会を確保する必要があると考え、WiFi環境が整っていない家庭に通信機器を貸与して、自宅待機等の児童・生徒の学習機会を確保するために予算計上した。

**問** WiFi環境がない家庭に機器を貸与する場合の設置基準などは決めているのか。また、通信費の負担はどの程度か。

**答** 家庭にWiFi環境が整っていないことを基本とし、貸し出しに対して同意書を提出してもらおうよう書類準備をしている。

**問** 通信費はその家庭の負担としている。新型コロナウイルス感染症対策として市内タクシー事業者、医療機関、飲食店、酒類製造業者に対して支援金、奨励金、補助金を計上しているがその内容について説明を。

**答** タクシー事業者は1事業者につき20万円、市内医療機関は1診療所に20万円、病院には200万円の定額支援金。飲食店は県の第三者認証を受けた店舗に20万円の定額奨励金。酒類製造業者は売り上げが20%以上減少している事業者に上限100万円を支援する補助金で、定額ではない。

## 国民健康保険特別会計(第2号)

**問** 熊山診療所の新型コロナウイルス感染症対策で、謝礼と医療事務従事者派遣委託料について説明を。

**答** 診療所で新型コロナウイルスワクチンの個別接種を行うために臨時的に応援してもらった医師への謝礼90万円、また、診療所で行う個別接種等の対応で人員不足が生じ、月初めに行うレセプト点検作業を人材派遣会社に一部委託するための委託料66万円である。

## 財産の取得について可決

### 佐伯北診療所のMRI装置購入

#### 本会議での 主な質疑

**問** MRI装置の購入で、入札方法について説明を。

**答** 条件付きの一般競争入札で、診療所長や放射線技師等が協議してどの機種がいいか研修会等で勉強しメーカーを決めた。結果、その機種で入札を行うという条件である。

## 人事案件

次のおり適任とした。

### 人権擁護委員

松岡 里子(小原)

【任期】

令和4年1月1日  
令和6年12月31日

討 論

**認第1号 令和2年度赤磐市一般会計歳入歳出  
決算の認定について**

【反対討論】

▽高校生通学費補助の山陽地域へ拡充の要望があるのに広げようという努力が見られない等、切実な住民要望に応え、もっと暮らしや福祉、教育充実に使わなければならない。よって、議案に反対する。

(1人)

**認第2号 令和2年度赤磐市国民健康保険特別  
会計歳入歳出決算の認定について**

【反対討論】

▽高い国保税を少しでも下げられるため、均等割の軽減・廃止を要望しているができていない。よって、議案に反対する。

(1人)

**議第41号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算  
(第5号)**

【反対討論】

▽コロナという不測の事態の中、20億円もかけて耐震改修工事をやる必要があるのか。庁舎のリニューアルに大きなお金を使う必要はなく、耐震工事のみでいいのではないか。今は市民をいかに守るか、困っていることをいかに助けていくかが、議員に問われている。よって、議案に反対する。

(3人)

▽我々の子や孫の代に大きな負担を強いるべきではない。小出しにされる関連予算に賛成を続けると後戻りできなくなり、合併特例債の時間切れで、耐震化しなくてはなくなる。

本庁舎の場所は、ハザードマップで大雨時に2・2メートルの浸水想定がされている。大地震時には、液状化で20センチの沈下想定である。このような場所に20億円もかけるのは、お金の無駄遣いである。

3月議会では耐震改修工事関連予算は否決している。皆さん、ぶれないでいただきたい。よって、議案に反対する。

▽躯体としての本体がどの程度もつのが大変不安である。災害についての危機感に、市民と執行部で温度差がある。リスクのある場所に20億円かけるのか。3月議会では耐震改修工事関連予算が削除され、6月議会では説明がなく、議論がないまま9月議会

で提案された。議論なしに強引に進めることは、赤磐市の歴史に禍根を残すことになる。よって、議案に反対する。

【賛成討論】

▽ここまで進んでいるのなら、ある程度必要な改修は、耐震工事とともに進めるべき。本庁舎改修、耐震改修を前提にした仮執務室改修なので、必要最小限の改修にとどめてもらえばよい。よって、議案に賛成する。

(1人)



赤坂支所



熊山支所



旧消防本部

請願

請願第4号 松くい虫防除の薬剤空中散布中止を  
求める請願 **【不採択】**

【要旨】

「体調が悪くなる」「幼児への将来の健康被害が懸念される」などの声がある。健康被害があり、土壌水質の検査を市が検証しておらず、見合う効果が明らかでないため、松くい虫防除の薬剤空中散布の中止を求める。

【賛成討論】

(4人)

▽空中散布で使用されている農薬、スミパインMCは、フェニトロチオンを成分としており、これは子どもへの悪影響の可能性を指摘されている。また、岡山県内では赤磐市だけが広い範囲で続けている。調査を民間にさせるのではなく、市が調べてデータを公表すべきである。約2500万円の予算を別の方法で使い森林を守るべきである。よって、請願に賛成する。

▽全国的に、空中散布は健康に害があるということが危惧されている。林業の育成という観点から、新しいやり方も出てきているので導入し、空中散布はやめてほしい。よって、請願に賛成する。

▽全国的に見ても健康被害の懸念が大きい。岡山県内では赤磐市と井原市で行われているが、実施面積の95%が赤磐市である。ほかの自治体は中止しており、赤磐市も合併前に赤坂町・山陽町は中止している。

よって、請願に賛成する。

▽新たな方法を導入すべき。健康被害の懸念が大きい。岡山県内で空中散布を実施しているのは赤磐市ともう1自治体だが、面積では赤磐市が大部分を占めている。山林の保水機能、国土保全を考えるなら、松や杉など針葉樹の森林より、落葉樹を含む雑木林の方が保水力が高いことは知られている。よって、請願に賛成する。

発議

発議第11号 コロナ禍による厳しい財政状況に対  
処し地方税財源の充実を求める意見書 **【可決】**

【要旨】

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られている。

また、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、その財源確保のため、地方税制の充実確保を強く要望する。

【意見書提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣

動議

議第41号 令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第  
5号) 修正 **【否決】**

【要旨】

本庁舎耐震改修工事に関する関連部分の削除を求めるものである。

財政面での危惧があり、生きたお金の使い方にならないのではないか。次世代に各種負担を先送りすることにはならないか。

この時代の建物のコンクリートの品質、強度への懸念をはじめとした、建物自体の性能を危惧する。

建築のプロをはじめ、知見を持った方に意見を求めると懸念を示した。追加補正が今後出てきたらどのように考えられるのか、議員の判断を求める。

令和3年9月第5回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	
議第37号	赤磐市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
認第1号	令和2年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	令和2年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号(修正案)	令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第5号)についての修正案	否決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号(原案)	令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	松くい虫防除の薬剤空中散布中止を求める請願	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ●=不賛成

※実盛祥五議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
認第3号	令和2年度赤磐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第4号	令和2年度赤磐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第5号	令和2年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第6号	令和2年度赤磐市宅地等開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第7号	令和2年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第8号	令和2年度赤磐市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第9号	令和2年度赤磐市水道事業会計決算の認定について	認定
認第10号	令和2年度赤磐市下水道事業会計決算の認定について	認定
議第38号	赤磐市過疎地域持続的発展計画について	可決
議第39号	赤磐市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の免除に関する条例	可決

議案番号	案 件	議決結果
議第40号	赤磐市中心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例	可決
議第42号	令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第43号	令和3年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第44号	令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第45号	令和3年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第46号	令和3年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第47号	令和3年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算(第1号)	可決
議第48号	令和3年度赤磐市財産区特別会計補正予算(第1号)	可決
議第49号	財産の取得について	可決
議第50号	令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第6号)	可決
発議第11号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決
発議第19号	委員会の閉会中の継続調査及び審査について	可決

※この日程は予定です。日程は、11月19日開催の議会運営委員会で決定します。

12月23日(木) 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)

12月17日(金) 予算審査特別委員会

分科会

12月10日(金) 厚生文教常任委員会・予算審査特別委員会厚生文教

分科会

12月9日(木) 総務常任委員会・予算審査

分科会

12月8日(水) 産業建設常任委員会・予算審査特別委員会産業建設

12月6日(月) 質疑・委員会付託

12月2日(木) 一般質問

12月1日(水) 一般質問

11月30日(火) 一般質問

11月26日(金) 議案上程



# 決算審査特別委員会

9月7日、8日に議長と議会選出監査委員を除く16人の議員で構成する決算審査特別委員会を開催し、議案10件について審査した。

## 一般会計

### 総務常任委員会 所管部分

**問** コロナ関連で市が行った全体の事業費はいくらか。

**答** 令和2年度のコロナ関係の事業費総額は約60億円で、交付金や補助金を除いた一般財源分は約5億円である。

**問** 企業版ふるさと納税寄附金70万円は、歳入額を定めていたのか。また、何の事業に納付したのか。

**答** 350万円を予定していたが、コロナ禍のため企業に対してのPR等ができずに実績が少なかった。移住・定住促進事業や市のソフト事業に充当した。

**問** ふるさと納税返礼品

の謝礼約7700万円について、支出先の上位5者の事業者と支払った金額は。

**答** 謝礼については包括委託契約をしており、レッドホースに支払っている。最終的な支払いについては、JA晴れの国

おかやま528万円、みのある産業860万円、キャットアイ1255万円、オーニット1319万円、桃茂実苑1846万円である。

**問** 防災行政無線保守点検委託料4569万円が、前年度より約7割増の理由は。

**答** 保守点検業務委託料が499万円、法改正に伴う吉井地域の防災行政無線の更新に係るものが4070万円である。この新規格への更新は、令和元年度、2年度の2

年間で行い、金額の増減が発生した。

### 厚生文教常任委員会 所管部分

**問** 狂犬病予防注射の接種率が、令和元年度に比べて約7%上がっている要因は。

**答** コロナの関係で接種期間が6月末から年末に延びている影響と、啓発の効力が徐々に出てきた



狂犬病予防注射

と分析している。

**問** 火葬補助金について、死亡者数と申請者数は。

**答** 死亡者数は503人で、申請者数は323件である。死亡者数には、

柵原、吉井、英田火葬場施設組合や和気北部衛生施設組合の管内料金での利用件数約120件を含んで

いる。また、自主的に申請しない遺族もいる。チラシ等で啓発活動を行い、制度を可能な限り利用してもらえるよう努める。

**問** 子ども医療費の不用額が約4000万円あるが、コロナの影響か。

**答** 前年に比べて、対象者数が126人、延べ件数で約2万件減少している。特に、緊急事態宣言等もあり、4月、5月の医療受診数が減少した。その後、適切な受診は必要であると広報紙等でPRを行った。

**問** ICT支援

業務委託料の詳細説明を。

**答** 校務文書の作成、ホームページの更新、教材の準備、機器の動作確認、年次更新、授業中の児童生徒への操作支援等の校務の支援である。

### 産業建設常任委員会 所管部分

**問** 松くい虫予防事業の空中散布に係る事業費の詳細説明を。

**答** 薬剤に1812万円、ヘリコプターに616万円、標識の設置に17万円、安全推進委員に36万円、あとは消耗品費等である。

**問** 学校給食地場食材料

用拡大事業について、県内産と市内産の割合の説明を。

**答** 食品に占める割合は、県内産が53.4%、市内産が26.5%である。

**問** がんばろう赤磐「口」対策持続化支援金の対象者数、申請者数の状況は。

**答** 市内業者約2230者のうち半数の1115者が20%以上の売り上げが落ちていると想定した。交付件数は836件である。

**問** 吉井川流域広域観光連携事業に1200万円以上支出しているが、市内観光客の誘致等にどれだけ効果があったのか。

**答** この事業は外国人観光客を対象にしている。令和元年度は3553人、令和2年度は世界中で入国制限が行われた関係で269人である。



東学校給食センター

# 予算審査特別委員会

9月21日に議長を除く17人の議員で構成する予算審査特別委員会を開催し、議案1件について審査した。

## 補正予算

### 総務分科会

(9月14日)

### FM管理事業に150万円計上

コミュニティFMを生かした事業の推進を図るため、株式会社岡山シティエフエムの株取得に係る経費

本委員会に付託された議第41号令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第5号)は、総務分科会、厚生文教分科会および産業建設分科会に分担して審査し、各分科会の委員長から報告を受け、報告に対して質疑を行った。質疑終了後、議第41号令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第5号)に対する修正動議が提出され、質疑の後、採決し、賛成少数で否決された。続いて原案について採決し、賛成多数で可決した。各分科会の審査内容の主なものは下記に記載の通りである。

**問** 岡山シティエフエムの株主になってから、今後どのような計画があるのか。

**答** 株主総会に出席し、赤磐市の地域づくりについて、放送時間、番組内容を増やすようお願いし、防災対策など赤磐市民に役立つ放送内容にする。

**問** 100株は現在の株主から譲り受けるのか。

**答** 山陽新聞社の持っている380株のうち100株を購入することで協議している。

**問** 定期的に番組の時間枠を取っているのか。

**答** 第2第4火曜日、第1第3金曜日に定期の番組を持っている。このほか必要に応じて不定期に情報提供をしている。

### 庁舎等整備事業に1億1200万円計上

市役所本庁舎の改修整備に伴い、旧消防本部庁舎、赤坂支所及び熊山支所の改修に係る経費

**問** 庁舎の設計、工事監理委託の業者はどこか。

**答** 庁舎の設計は、AD O建築設計事務所である。監理はまだ決まっていない。

**問** 本庁舎の耐震改修に向けての仮執務室の整備は、事業を進めるにあたって、どういう考え方で取り組んでいくのか。

**答** 庁舎については、市民サービスを充実したものにして、後世に伝えていくことが一番のコンセプト。有利な財源として合併特例債を活用しながら、なおかつ市民へ将来を含めた負担を掛けないことを命題に持ちながら

検討を進めている。工事期間中は市民に迷惑を掛けることになるが、その負担を極力少なく、安全を考慮し、なるべく迅速に完成するよう、順次、コスト意識を持ちながら、無駄な投資にならないよう執り行う。

その第1弾として、旧消防庁舎の改修と、仮設的に赤坂と熊山支

所の空いている部屋を執務スペースとして活用する。



赤坂支所2階



熊山支所3階



熊山支所2階



**防災訓練用資機材整備に100万円計上**

財団法人自治総合センターが行うコミュニケーション助成の決定を受け、防災訓練用資機材整備の経費

**問** 年少少女防火委員会の防災訓練用資機材のDVDソフトは、町内会の防災活動の際に貸してもらえるのか。

**答** 貸し出し等の要望があれば対応したい。

**消防出張所の環境改善に752万円計上**

新型コロナウイルス感染症対策として、消防出張所（東・北）の仮眠室の間仕切り等、環境改善に係る経費

**問** 東・北出張所の仮眠室設置工事は個室になるのか。

**答** 感染防止の観点から個室を考えている。

**厚生文教分科会**

(9月10日)

**私立保育園・こども園等コロナ対策補助金に1270万円計上**

新型コロナウイルス感染症対策として、乳児家庭全戸訪問事業と、私立の保育園、こども園及び放課後児童クラブの環境改善に係る経費

**問** 私立保育園・こども園等コロナ対策補助金について、放課後児童クラブは各クラブいくらくらいになるのか。

**答** 小規模のクラブには30万円、その他のクラブには40万円である。

**問** いろいろ支払われるのか。

**答** 議会閉会后、できるだけ早く進めていきたい。

**健康増進事業に382万円計上**

国の決定により、健診結果の利活用に向けたシステム改修に係る経費

**問** 保健衛生総務費のシステム改修委託料について説明を。

**答** 自分の健診結果について、システムを使い見えるようにするものである。

**問** 将来的にマイナンバーとつなげていくことはあるのか。

**答** 将来的になると思う。

**感染症予防事業に820万円増額**

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制確保に係る経費

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種委託料について説明を。

**答** 集団接種の運営について、熊山診療所に協力してもらっていたが、通常の診療体制に戻すため、その後の人材を確保するための委託料である。



市内放課後児童クラブ

**産業建設分科会**

(9月13日)

**農業経営・生産対策事業に500万円計上**

新型コロナウイルス感染症対策として、農業経営収入保険加入者へ保険料の一部を補助する経費

**問** 農業経営収入保険加入支援事業補助金について、今回500万円を予算計上しているが、対象農家はどのくらいで、この金額を計上しているのか。

**答** 収入保険は、青色申告していることが加入条件である。この保険は、収入の規模によって掛け金が異なるため、平均的な掛け金に対する補助を5万円程度とし、1000件を目標にしている。

※農業経営収入保険制度は、農産物の品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補填する公的保険であり、保険料の一部は国が補助します。



農業経営収入保険パンフレット

委員会のうごき

総務常任委員会

9月14日に総務常任委員会を行った。議案2件について審査した。

赤磐市過疎地域 持続的発展計画の策定

問 赤坂地域が新たに指定された経緯は。

答 令和3年4月に施行された法律により、合併前の市町村区域で人口減少要件を満たす地域についても、一部過疎の指定をする新しい要件が誕生し、旧赤坂町が該当した。

問 赤坂地域も吉井地域同様合併浄化槽の補助金が増額されるが、遡及適用できるのか。

答 令和3年4月1日から遡及適用する予定。



赤磐市の過疎地域

固定資産税免除に関する条例の制定

問 市町村計画に振興すべきとして定めた業種の用に供する設備の取得等をした者に係る固定資産税の課税免除

問 周知漏れがないように、丁寧な情報提供を。

答 償却資産の申告書に説明資料を入れ、商工会にも出向き説明する。

厚生文教常任委員会

9月10日に厚生文教常任委員会を行った。議案5件について審査した。

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算

問 繰越金の増額について説明を。

答 県への納付金には、激変緩和措置があり、赤磐市は対象になっている。その額が約7000万円あるため、令和2年度決算により、単年度で約8000万円の黒字になった。それと今までの繰り越しがあり約2億9000万円の繰り越しになった。

問 激変緩和措置について、今後入る予定の金額か。

答 令和5年度で終了することが決まっており、令和6年度からは、その分納付金が増えると思っている。

問 コロナの関係とつながりがあるのか。医療費については、コ



熊山診療所

ロナの影響で例年より若干下がっているが、あまり影響していない。

問 熊山診療施設定の謝礼と医療事務従事者派遣委託料について説明を。

答 謝礼は、新型コロナウイルススワクチンの個別接種を行うため、応援に来てもらう医師に対してのものである。医療事務従事者派遣委託料は、ワクチン接種の作業により、レセプト点検作業の人員不足が生じているため、必要な人材を派遣してもらうものである。

産業建設常任委員会

9月13日に産業建設常任委員会を行った。議案3件及び、請願1件について審査した。

議案3件については、質疑はなかった。

請願第4号 松くい虫防除の薬剤空中散布中止を求め請願について

各委員より意見が出されたのち、採決し、請願を否決した。

各委員の意見  
・同趣旨の署名が、現在410筆寄せられている。松くい虫防除の事業をやめてほしいという立場で賛成である。  
・体調が悪くなっている人、体調が悪くなると懸念している当事者から、何の要望もない中で、善しあしの判断ができないので、この件については反対である。  
・1団体からの請願については、賛成ができない。



松くい虫の防除作業

推進をしている人の長い歴史もあるので、この請願については反対である。  
・空中散布の結果が、明らかに現れていた。地元の人との調整が必要ではないかと思っている。空中散布の必要性があると判断しているため反対である。  
・熊山地域でも長い間やっており、素晴らしいグリーンが輝いている。これからも続けてやってもらわないといけないため反対である。

一般質問

市の考えを問う

11人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



9月定例会のあらまし

委員会のいきなり

いっぽん質問

その他協議会等

**問** いじめ防止対策推進法についての再教育を

**答** いじめ問題対策基本方針に基づき早期発見、再発防止に努める

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



安藤利博議員

**問** 不登校重大事態件数を文部科学省は発表している。723件だ。赤磐市の件数は。

**答** 都道府県、市町村別の件数は公表していない。

**問** いじめは発生件数よりも解消件数が大事。令和2年度のいじめ解消件数は。

**答** 小学校はいじめ32件中22件。中学校はいじめ23件中13件。小中学校とも解消率は約70%。

**問** 令和元年度の中学校の不登校生徒は各クラス

に1人はいる多さ。僅かの減少をもってモデル的取り組みと言われては、苦しんでいる本人や家族は、傷口に塩を塗られるような気持ち。補足、訂正するところはないか。

**答** 県教育委員会の評価であり、市としての補足、修正はない。

**問** いじめ不登校数、重大事態数を公表しない。重大事態の意味も理解していない。開示文書はほとんど黒塗り。それも特例限度いっぱい30日後。個別案件には答えられない。このような教育委員会の隠蔽体質を改めないと赤磐市の教育界はよくなる。

**答** 保護者と学校が同じ方向を目指して取り組んでいく必要があると認識している。

**桜が丘中央の再開発について**

**問** 現状は、民間の所有者も、桜が丘住民もみんな被害者だ。現状を変えられるのは市長のみ。市長の最大任務であると思うが。

**答** 極めて重要な地域資源であり、権利者の意向を尊重しながら、事業の推進に努める。

**問** 既に2期8年が経過している。政治生命をかけて3期目を託してよかったと思える進展を期待している。

**答** 実現に向けて粉骨砕身頑張っていく。



桜が丘中央

表紙のひとこと

笹岡小学校でのタブレット端末を使用した授業の様子です。新型コロナウイルス感染症が流行し、オンライン授業や、リモートワークがよりスピード感をもって普及しています。タブレット端末を使用することで、生徒も興味・関心を持ち、積極的・効率的に学習できるといいですね。

### 問 子や孫たちに60億円の負債を残すのか

### 答 赤磐市には、本庁舎を新築する財源が無い

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



永徳省二議員

年後には6000万円の子や孫たちが家を建て替える必要がある。

父は、1800万円の費用負担は不可能だと主張。600万円だったら何とか出せるので、改築耐震化をすべき。子や孫が、30年後に6000万円を負担するのは、私の死後なので関係ない、と主張。このような将来を考えない無責任な考えに、子供夫婦や孫たちは誰一人賛成しない。

母は、6000万円で改築しても、30年後に子や孫が、6000万円で新築する必要があり、子や孫に6000万円の負担をかけることは親としてすべきではない。今、1800万円で新築すれば、30年後に子や孫に6000万円の負担を強いることがないので、頑

問 本庁舎耐震化を赤磐さんという一家で金額を100分の1にして話す。赤磐家では、築46年になる家に3世代、父、母、子供夫婦、孫2人の6人家族で居住。家が築46年になって、改築か新築かを検討中。今は合併特例債という有利な財源があり、3割負担で済むため、早急に対応する必要がある。新築は、1800万円。改築は、6000万円。出来るとは、6000万円。改築しても、30

張って新築すべき、と主張。子供夫婦や孫たちは大賛成した。というお話。父の考え方は市長の考え。母の考え方は永徳の考え。これを市民の皆さんや子供たちに、分かるように説明をして、父が正しいのか、母が正しいのか、説明してほしいと思う。市長は、どのように考えるのか。

答 赤磐家は600万円以外に、1800万円の備えがあるのか。備えがなく、10年で償還すると、1年に単純に180万円ずつ所得から消えていく。裕福ではないところにとつては、身を切つてそれを支払っていかねばならない。

#### 赤磐市役所本庁舎等整備事業について

【基本方針】市役所本庁舎の整備については、現在の庁舎が適切な安全と耐震改修工事を行うことで、今後も十分機能を維持しながら、継続的に活用することができることから、活用できるものは有効に活用し、事業費を抑え、有利な財源（※合併特例事業債）を確保し、市の負担を極力抑えながら、必要な改修を行う計画とします。

- ◆安全に利用できる施設に
- ◆誰もが利用しやすい施設に
- ◆防災拠点機能の強化

※合併特例事業債とは  
新年度計画に基づき借り入れすることができる総額のことです。事業費の95%まで借り入れでき、毎年度返済する元金償還金の70%が普通交付税措置されるため有利な財源とされます。

#### 本庁舎等整備事業説明会資料

問 ワクチン接種状況と今後の予定について。  
答 国からのワクチン配分が大きく変更すれば予定通りの計画とはならないが、今後も集団接種、個別接種を併用していく。現在12歳以上の予約を受けている。8月17日時点の接種状況は、65歳以上で1回接種87・1%、2回接種84・1%で、全体では1回接種が45・9%、2回接種が37・2%である。

### 問 新型コロナワクチン量の確保状況について

### 答 10月末までの接種は見通しが立っている

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



佐藤 武議員

接種時に発行する接種済証または記録書を利用してほしい、記録書紛失等の場合は市に相談をしてもらいたい。

### 問 農業用プラスチック肥料の対応策について

問 肥料殻は1970年代から40年以上にわたって大量に使用されている。施肥の省力化や後継者不足から今後ますます需要が増えると予測される。一番の問題は多くの農家の皆さんがプラスチックとは知らずに使っており、用水路から河川を通じて瀬戸内海への流出が懸念される。プラスチック海洋汚染は世界的な問題であり、改正瀬戸内法では、海洋プラスチックごみを含まず漂流ごみの除去と発生抑制へ向

けて国と自治体の連携強化が規定されている。環境改善策への根本的な取り組みや、代替製品の開発を働き掛ける考えはないか。

#### 被覆肥料の被膜殻の流出防止対策について

被覆肥料は、軽劣化や施肥量の削減につながるなどの利点がありますが、表面をプラスチック等の被膜でコーティングしているため、水田では肥料成分が溶出した後の被膜殻が水面に浮上し、河川等へ流出する可能性があります。

#### 被覆肥料の流出防止対策チラシ

答 被覆肥料が水田で使用された場合、河口域や海に被覆殻の蓄積が確認され、環境への影響が懸念されている。県やJAでは農家に対しチラシを配布し、水田から流出させないための水位調整や代替肥料の活用等の対策周知を図っている。市としても、プラスチックリサイクルや回収などを強めながら、海洋流出防止に向けて取り組みを強化する必要がある。

### 問 住民サービス部分のDXをどう進めていくのか

### 答 令和4年度末までに27業務を整備する

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



佐々木雄司議員

とともに、県や各市町村とも連携し、令和7年度末を目標に、庁内のシステムの標準化、住民手続きのオンライン化等を進める。まずは令和4年度末までに、子育て、介護、住民手続きのオンライン化等を進め、27業務の継続性についてオンライン申請ができるよう整備する。

**問** 職員のリモート環境整備も今後必須になってくるのではないかと。年末年始には、今より感染力と毒性の強いウイルスの出現が指摘されており、私たちの社会に出現する

私たちが社会に出現するということになれば、感染拡大と職員感染のため市役所業務が止まってしまふ可能性も出てくる。そうなった時にでも、リモートワーク環境が整備されていれば、職員を市



リモートワーク

役所外から業務に当たらせることができ、市民生活業務を守ることができると。市民生活を守るため、リスク管理である災害時業務継続計画（BCP）に基づき、リモートワーク業務の環境整備を早急に進めるべきではないか。

### 問 保育園等の子育て支援施設の感染症対策は

### 答 厚生労働省の対応関連通知に従い運営を実施

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



大森進次議員

切に対応している。**問** 現場の先生方が苦勞している中、プロ意識を持って職務に励んでいる先生方の声、保護者の声を十分聞いて、感染症対策について万全を期してもらいたい。今後どのように取り組んでいくのか。

**答** いまだ感染状況が拡大していることを鑑み、9月議会で感染予防対策に関わる補正予算を計上し、子育て支援施設への支援を行う予定である。

今後、厚生労働省は保育所の感染防止強化のための指針を策定する予定で、関係機関と連携し情報を共有しながら、より一層感染予防に努めていくよう周知を図っていく。**問** 脱炭素化の波が押し寄せる今日において、赤磐市のビジョンと以前作成した公共施設管理計画



公立こども園

9月定例会のあいま

委員会のいっぴん

いっぱん質問

その他協議会等

**問** コロナ対策でのPCR検査の無料化を  
**答** 検査能力に限界があるので慎重に判断する



福木京子議員

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



県下全体の検査機能に大きな支障となる可能性があるため、慎重な判断が求められる。

**防災対策について**

**問** 本庁舎周辺の浸水想定区域の防災対策、さらに河本などの新住宅地域の防災対策の考えは。防災を考える審議会を立ち上げる考えは。

**答** 浸水想定区域に係る洪水対策は、河川改修や日常的な河川の点検、管理など、河川や堤防を良好な状態に保つことが重要で、国、県に要望していく。防災講座や自主防災組織で、訓練や避難路の確認などしていただくよう啓発していく。新住宅地については見直すことが必要で、作業に取り掛かっていきたい。すでに赤磐市では防災会議を

**問** 高齢者のワクチン接種後、64歳以下の接種が始まっている。全国、岡山県でも感染者が増え、いつ赤磐市でもクラスターが発生するかわからない。希望者にはPCR検査を無料でできる体制をつくるべきだ。早く感染者を見つけ、保護、治療することが、医療に負担をかけず感染者を広げない方法である。

**答** 岡山県の行政検査能力は限界に近いものがある。このような状況では、

**問** 山陽団地



山陽団地

**問** 侵入盗が市内で続いているが、防犯カメラの設置については、どのようにしているか。

**答** 自治会が設置する防犯カメラの導入に係る経費の補助を行っている。

**問** 防犯意識の醸成のためにも、積極的な取り組みを。

**答** スピード感を持って啓発に取り組む。



今井川

**問** 防犯カメラの設置補助は  
**答** 積極的に補助の利用促進を図る



大口浩志議員

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



認知症検診・診断について

**問** コロナまん延につき、子ども、孫等との接触の機会が減っている中、認知症の進行を早め

に気づくために、認知症検診を積極的に受けてもらう方策は。

**答** 認知症の検診体制を整え、積極的に検診を進めていく。

**問** 検診を受けるきっかけとして、1回目の検診を無償化できないか。

**答** きっかけ作りの点は、後日詰めたい。

**河川管理について**

**問** 浚渫についてはどのような状態か。

**答** 浚渫残土の処理に苦勞しているのが現状。

**問** 仮設の置き場でも早急に手配し、浚渫がスムーズに進むようにできないか。

**答** 河川管理において、非常にメリットが大きいことは認識している。地区の皆さまの協力を得ながら、前向きに取り組む。

※浚渫…河川や運河などの底面をさらって、土砂などを取り去る土木工事

### 問 庁舎改修は水害の想定をしていないが

### 答 耐震改修の長寿命化の方針は変わらない

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



原田素代議員

い。市民には緊急時の対応の啓発を行い、河川の改修を計画的に実施していく。

問 3年前の倉敷市、岡山市の水害の経験から何を学ぶのか。

倉敷市の報告に「浸水想定が5メートルの地区に真備支所、郵便局、消防署、交番、高校、中学校、小学校など主要施設があり、すべてが浸水している。浸水想定が甘かった」と言っている。友實市長は「最大2・2メートルは極めて小さな事象であり、避難行動をとることは困難であり現実的でない」と公言している。さらに市長は「工事費用は60億円より20億円のほうが安い」と言うが、議論もなく結論ありきで、耳を貸さない。

問 今年の3月議会で、耐震改修に係る工事費は修正動議により減額された。新たな浸水想定を念頭に、安全な庁舎の建設を見直すべきという理由で賛成多数となった。自然環境が、地球的規模で大きく変わってきている中、住民たちの生命財産を守るにはどうするのかという議論なしに、庁舎の問題は語れない。

答 施設の長寿命化を図っていく計画を進めていく方針に変わりはない。



平成30年7月豪雨後の下市地内

見は聞いている。庁舎の考え方は赤磐市と同様である。

問 議員活動に対して職員が「やめる」と文書を作成し、それを議長が見て、「やめるように」と判断されたので、原田の一般質問原稿に写真の掲載ができなかった。議会事務局長に聞いたが、何も聞いていないという答えだった。職員に議員活動を指示できる権限はどこにあるのか。

答 担当者同士の相談の範囲で意見を伝えたものではないと考える。

### 問 松くい虫防除の、空中散布中止の考えは

### 答 関係地区、県などと協議をして定める

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



鼻岡美保議員

なら、赤磐市の保健福祉行政のトップとして、血のかよった答弁を。

問 松くい虫防除の農業空中散布を中止する考えはないのか。

答 本市では昭和40年代からの継続実施により効果を発揮している。次年度以降の実施計画については、関係地区の意見を伺いながら、また岡山県などと協議をして決めていきたい。

問 医療費18歳まで無料に。市長は高校生1割負担をずっと続けるつもりか。また「子育てするならあかいわ市」というの

答 現在の健康保険財政については、医療の高度化、高額化で健康保険財政が圧迫されている。財政健全化の取り組みを推進して一定の効果を見ながら進めたい。効果が現れてきたら次のステップに進みたいが、もししばらく現行の制度を継続する。18歳まで無料は市長と協議をしながら進める。行き過ぎた発言になったかもしれないが、当時の担当者として悩みに悩み抜いて1割負担の結論を出した。



赤松林

なされる。また家用車の保有が認められない。これが申請意欲を減退させる原因となっている。新型コロナウイルスの影響で生活困難に陥った方の生活を守る最後のとりでとして、相談しやすい体制を取る必要があると考えるが。

答 扶養義務者の照会手順については少しずつ緩和されているが、法定受託事務として原則扶養義務者に相談をする体制になっている。国の生活保護法に従って行っている。家用車の保有も、法定受託事務の基準に沿って行っている。

9月定例会のあいま

委員会のいき

いっぱん質問

その他協議会等

### 問 効果的な支援のために「中小企業振興条例」の制定は

### 答 前向きに考える

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



議員 義明 徳治

上乗せを図る市独自の施策をスピーディーに実施すべきでは。

国や県の対策に呼応して、市独自の取り組みも準備を進めていく。

アフターコロナの取り組みとして、①5月に行った「キャッシュレス決済キャンペーン」は経済を活性化する効果があったと考える。再度取り組むべきでは。②コロナの影響を直撃しているのが観光の分野である。新しい観光形態であるマイクツーリズムの推進に取り組むべきでは。

①ポイント還元が有効であればやっていきたい。②マイクツーリズムを取り入れてアフターコロナの誘客に努める。

コロナの長期化で中小企業は厳しい状況にある。中小企業の役割の重



ワクチンの集団接種会場

要性を考えれば、より効果的な支援を行うために「中小企業振興条例」を制定すべきでは。

中小企業の厳しい状況を深刻に受け止めている。商工会との協議等を行い、前向きに考える。

### ヤングケアラー対策について

病気や障害がある家族等をケアやサポートをする18歳未満の子供たちの総合的な支援が必要だ。実態調査や一歩踏み込んで条例制定をすべきでは。

現状把握が不十分だ。関係機関としっかり連携していく。条例については必要性を検討する。

### 問 大掃除の時に車の貸し出しはできないのか

### 答 今までは特例により貸し出しを行ってきた

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



議員 守 保田

とになっている。ただし、旧町時代の運用として昭和50年代の開発当初より、山陽団地町内会の地域清掃活動に車両の貸し出しを行ってきた経緯がある。地方自治法238条の4第7項の規定により、その用途・目的を妨げない限りにおいてその使用を許可する事ができ、貸し出しを行ってきた。しかしながら、近年の業務の多種多様化や貸出車両の老朽化により安全性が不安視される。また他地域との公平性などを含め、改めてその貸し出しについて停止する方向で検討する必要があると考えている。

毎年、春と秋に行っている大掃除で刈り取った草を運ぶために、市の車を借りているが、来年からは使用できないと聞いたが、それは困る。今まで通り貸し出しをしてもらえないか。

行政財産である庁用車は地方自治法238条の4の規定により、庁用車は公務遂行上必要な範囲で使用することに限り、一般貸し出しは行っていない。その目的を逸脱するためできない。



市所有のトラック

し出してもらった。今後とも238条の4第7項の規定により特例を使い、トラックの貸し出しを続けてもらえないか。

今まで通り貸し出しをして欲しいとのこと意見があることは重々承知しているが、既に山陽連合町内会とはこの件について協議しており、一定のご理解をもらい、来年度に向けた調整がされていると承知しているが、今後必要に応じ協議したいと考えている。



## 産業建設常任委員会 視察研修

産業建設常任委員会は7月14日に市内各所の取り組みを視察した。

- ① 美作岡山道路吉井IC以北ルート  
県職員から進捗状況等の説明を受けた。
- ② 城山公園茅葺改修工事計画現場  
過疎対策事業により城山公園の休憩所、大型堅穴遺構の実施計画について説明を受けた。
- ③ 是里のぶどう新規就農者の活動状況  
ピオーネ、シャインマスカットなどブドウを生産する吉井ぶどう生産出荷組合の新規就農者から現状や今後の栽培計画など説明を受けた。
- ④ 是里農村公園周辺（ワイン記念館・リゾートハウス等）古民家再生活用実例  
古民家カフェは是里の経営者より、古民家再生活用の活動状況の説明を受けた。
- ⑤ 熊山英国庭園・地域おこし協力隊の活動状況  
現在のイベント開催等の取り組みやアフターコロナを見据えた計画などの報告を受けた。
- ⑥ 沢原のサル捕獲  
鳥獣被害対策として、熊山でサルのGPSによる生息域と行動域の調査を行うとともに、サルの捕獲罠を設置している状況の説明を受けた。



県職員による美作岡山道路吉井IC以北ルートについて説明（城山公園にて）

## タブレット導入検討専門部会 視察研修

部会として7月28日に真庭市議会を視察した。

当日は、新型コロナウイルス感染症予防のため、リモートにて視察研修を行った。真庭市議会より導入の経緯から議会で活用されている現状までを時系列で説明を受け、事前に送付している質問に対して回答を頂き、当日の説明に対して質問を行った。

説明の主なものとして、タブレット導入を決めた経緯、導入により期待できる効果、議会運営方法、タブレット使用の規程、ルール化などで、事前に、通信費、使用範囲、議会以外での使用についてなど質問を送付していた。

当日は、備前市議会より導入の経緯から議会で活用されている現状までを時系列で説明を受け、事前に送付している質問に対して回答を頂き、当日の説明に対して質問を行った。

説明の主なものとして、タブレット導入を決めた経緯、導入により期待できる効果、議会運営方法、タブレット使用の規程などで、事前に、通信費、使用範囲、議会以外での使用についてなど質問を送付していた。



用範囲、議会以外での使用についてなど質問を送付していた。

赤磐市議会が導入するにあたり、検討をしなければならぬ事項は、真庭市議会が導入をするために検討した事項と大差はなく、真庭市議会でも検討されたことを参考に、赤磐市独自の検討事項等も模索し、導入に向けてより良い検討を行い、最少の費用で最大の効果が出るよう、また、利用するにあたり使用する者がしっかりと使いこなせるように考えていくべきと思っており、部会で導入の検討するにあたり貴重な視察研修であった。

真庭市議会出席者  
小田康文議長、西田文字議会ICT化推進部会長、事務局長、事務局員

通信費、使用範囲、議会以外での使用についてなど質問を送付していた。

備前市議会では、平成26年に執行部主導で導入が決まり、機器は市長部局、教育委員会、システムを議会が担当して導入された経緯がある。赤磐市議会としては、現在は議会主導で導入の検討を行っており、備前市議会とは導入の経緯が違うが、導入後の運用については参考とする事例もあり、赤磐市議会独自の導入に関しての事項について検討を行いたい。

備前市議会出席者  
吉村武司市長、守井秀龍議長、事務局長、事務局員

9月定例会のあいま

委員会のこぼれ

いっぱい質問

その他協議会等

# 第51回岡山市議会議員研修会（オンライン）に参加しました

## 開催日

令和3年8月16日

## 場所

赤磐市役所3階協議会室

## 演題

地方創生時代における地方議会の役割とは

## 講師

早稲田大学名誉教授

早稲田大学マニフェスト研究所顧問

北川 正恭 氏

## 所感

コロナ禍の中、市議会議員が密になり集まることの無いように Zoom によるオンラインにて市議会議員研修会に参加しました。講師には、衆議院議員、三重県知事、早稲田大学院教授を経験された、北川正恭先生をお招きし、我々、地方議会の役割について講義いただきました。具体的に先進市町村事例を参考に、これからの議会をどのようにすべきかを学びました。北川正恭先生は、TTP（徹底的にパクれ）と先進市町村を参考に研究し学び、事例展開せよとご教授されました。赤磐市議会も他市に学び議会のタブレット導入など挑戦してまいります。

## 議会全員協議会

8月19日

### 主な協議・報告事項

- ・令和3年9月第5回赤磐市議会定例会について
- ・決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会について

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」の提出について

8月30日

### 主な協議・報告事項

- ・新型コロナウイルス対策について

## 令和3年度議会報告会 休止のお知らせ

赤磐市議会では、市民の皆さまに日頃の議会活動を報告するとともに、市政全般にわたって市民の皆さまと自由に情報や意見を交換することを目的に、例年11月には議会報告会を開催してまいりました。

今年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、休止とさせていただきます。

ご理解、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。



赤磐市マスコットキャラクター  
あかいわももちゃん

### 広報広聴委員（広報部会）

- ・ 部長 光成 良充
- ・ 副部長 鼻岡 美保
- ・ 委員 治徳 義明
- ・ 委員 大口 浩志
- ・ 委員 永徳 省二
- ・ 委員 安藤 利博

## 編集後記

困難ともいえるべきコロナ禍の中、市民の命、健康、生活、経済を守ることは最重要課題です。

市議会においても、定例会での一般質問や質疑、委員会での質疑を通じて感染症防止対策、ワクチン接種、経済対策など市民の安心・安全を支えるために議論を重ねています。

今後とも、ウィズコロナ、アフターコロナをどのように取り組んでいくか真剣に議論してまいります。

加えて、医療介護、子育てを始めとした社会保障や公共施設の老朽化対策など将来に向け増高する財政需要や地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策など多くの喫緊の課題に迫られています。市民の皆さまの期待に応えられるよう頑張ってまいります。